



Investment in Pakistan  
Introduction of case of a Japanese Food company  
パキスタンへの投資  
日本の食品企業としてのケース

Morinaga Milk Industry Co., Ltd.  
森永乳業株式会社

# ラホールの旧市街

## Old City, Lahore



# 森永乳業グループの概要

<b>会社名</b>	森永乳業株式会社 (MORINAGA MILK INDUSTRY CO., LTD.)
<b>本社所在地</b>	東京都港区芝五丁目33番1号
<b>代表者</b>	代表取締役社長 宮原 道夫 代表取締役副社長 大川 禎一郎
<b>創業</b>	1917年 (大正 6年) 9月 1日
<b>設立</b>	1949年 (昭和24年) 4月13日
<b>資本金</b>	21,731百万円
<b>従業員数</b>	連結 6,157名 <男子4,743名、女子1,414名> 単体 3,247名 <男子2,629名、女子 618名>
<b>事業内容</b>	牛乳、乳製品、アイスクリーム、飲料その他の食品などの 製造、販売
<b>グループ会社</b>	連結子会社32社 他持分法適用会社2社
<b>上場証券取引所</b>	東証一部 (証券コード：2264) (2019年3月31日現在)



# 弊社のパキスタンにおける事業



- Nutrico Morinaga Pvt. Ltd.
  - 森永乳業24.5%出資
  - 幼児用栄養食品の製造、販売
  - 2017年1月設立
- Nutrico Pakistan Pvt. Ltd.
  - 森永乳業10%出資
  - 育児用調製粉乳(所謂粉ミルク)の輸入販売
  - 2014年設立



# 事業所の所在地



- Nutrico Morinaga社 : パンジャブ州シェイカプラ(ラホール郊外)
- Nutrico Pakistan社 : シンド州、カラチ



Nutrico Morinaga社

Nutrico Pakistan社

©Google Maps

# 合弁事業パートナーについて



- 合弁事業パートナー

- ICI社                   パキスタンにおいてポリエステル事業、ソーダ灰事業などを

- ICI社                   運営するパキスタン大手化成品製造、販売会社の上場企業。

- Unibrands社        当社の育児用調製粉乳を40年近く輸入販売し、2014年にNutriCo社に育児用調製粉乳事業を移管した。

# なぜパキスタンなのか？



- 乳幼児栄養＝対象は赤ちゃん
- 日本の出生数＝86万4千人(2019年)
- パキスタンの出生数＝630万人(世銀)
- 年間出生数は日本の7.3倍
- 過去40年に創り上げたブランドに対する信認
- 栄養を通じてパキスタンの発展に貢献すると確信

# 投資環境



- 日本人の抱くパキスタンのイメージと実態には大きなギャップがある
- 人口が大きいことから特に消費財については大きな需要があり、かつ伸びしろも大きい
- イメージがあまり良くないことで進出企業は限られている



隠れた宝石

# 課題



今までポジティブな面をお伝えしてきましたが、もちろん課題が無いとは言いません。すべての投資先と同様、投資環境という面では改善の余地もあると感じる部分があります。

- 世界銀行の「ビジネスのしやすさ」指数では世界での順位は必ずしも高くない(108位)。
- 但し、順位は上がっている(2017年144位から大きく躍進)
- 外資誘致のための環境整備、インセンティブについては改善の余地があると感じる
- また、税制についても外国企業にとっては解りにくい部分が多い
- サポートインダストリー、外国企業向けのサービスが未発達

今後に期待